

# 内部の漂白できない



市販の歯磨き剤で取れない色みは、歯の表面ではなく、内部にある色素の色みです。本当に歯を白くしたいのであれば、過酸化水素や過酸化尿素という医薬品を使って、歯の内部に蓄積しているたんぱく質色素を漂白する必要があります。

【問い】 ホワイトニング効果があるとされる市販の歯磨き剤を使っていますが、なかなか白くなりません。何か原因があるのでしょうか。  
(長崎市32歳 女性)

【答え】 市販の歯磨き剤には、歯科医院で行うホワイトニングのように歯の内部に作用して化学的に白くする成分は配合できないことになっています。従って、現在市販されている歯磨き剤で歯そのものの色を白くすることには限界があります。以前は研磨剤が入った歯磨き剤を使うことで、歯を白くすることができるとうたわれていました。しかし歯の表面に傷をつけてしまうため、現在ではあまり使われていないようです。

歯の色の変化の原因には、ヤニや茶渋など歯ブラシでは落ちにくい色素の沈着もあります。ホワイトニングを検討する前に、歯科医院で歯の専門的なクリーニングを受けることで、白くなることもあります。ただし、歯の着色には、むし歯や歯根の炎症によるものなど治療が必要な場合もあります。まずはかかりつけの歯医者さんに相談してみてもいいかでしょうか。

## 市販の歯磨き剤

ホワイトニング効果があるとされる歯磨き剤は、色の濃い食品や嗜好品による着色の除去、過去に行ったホワイトニングの効果を長持ちさせるといった意味で、一定の効果が期待できると思います。

### 質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒8552-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

回答者 石田 佳之  
長崎市西山2丁目  
西山歯科医院院長

